

2 大学

(1) 表4に示すとおり、平成25年3月卒業者のうちの就職者総数は2,104人で、前年より95人減少している。そのうち県内に就職した者は676人で、前年より32人増加している。県内就職率は32.1%で、前年より2.8ポイント上昇している。

県内就職率を学部別でみると、家政学部が70.6%で、最も高い県内就職率となっており、前年より5.7ポイント上昇している。他の学部についてみると、文学部は61.2%（前年に比べ3.6ポイント上昇）、商経学部は19.8%（同0.9ポイント上昇）、工学部は32.8%（同3.3ポイント上昇）、医学部は50.3%（同2.6ポイント上昇）、看護学部は42.9%（同15.1ポイント上昇）、教育学部は55.2%（同6.8ポイント上昇）となっている。

3ページ表3に示したとおり、県外就職者は1,428人で、前年より127人減少している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄445人（県外就職者総数に対する構成比31.2%）、その他の地方377人（同26.4%）関東319人（同22.3%）、近畿98人（同6.9%）、中部75人（同5.3%）の順となっている。

進学者総数は315人で、前年より2人減少している。県内進学率は69.5%で、前年より2.3ポイント上昇している。

表4 学部別進路状況（大学）

（単位：人、％）

区 分	総 数		文学部		商経学部		工学部		医学部	
	25年3月	24年3月								
卒業生総数	3,168	3,424	291	347	1,753	1,888	554	598	157	162
就職者総数	2,104	2,199	129	139	1,178	1,248	311	319	147	151
就職率	66.4	64.2	44.3	40.1	67.2	66.1	56.1	53.3	93.6	93.2
うち県内就職者	676	644	79	80	233	236	102	94	74	72
県内就職率	32.1	29.3	61.2	57.6	19.8	18.9	32.8	29.5	50.3	47.7
進学者総数	315	317	17	25	89	87	171	172	2	4
進学率	9.9	9.3	5.8	7.2	5.1	4.6	30.9	28.8	1.3	2.5
うち県内進学者	219	213	5	18	13	10	166	158	2	-
県内進学率	69.5	67.2	29.4	72.0	14.6	11.5	97.1	91.9	100.0	-
一時的な仕事に就いた者	39	55	26	26	4	6	3	3	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	1.2	1.6	8.9	7.5	0.2	0.3	0.5	0.5	-	-
うち県内居住者	21	23	13	7	2	3	1	3	-	-
県内居住率	53.8	41.8	50.0	26.9	50.0	50.0	33.3	100.0	-	-
その他総数	710	853	119	157	482	547	69	104	8	7
その他の率	22.4	24.9	40.9	45.2	27.5	29.0	12.5	17.4	5.1	4.3
うち県内居住者	102	111	31	30	30	34	22	31	3	1
県内居住率	14.4	13.0	26.1	19.1	6.2	6.2	31.9	29.8	37.5	14.3

つづき

区 分	看護学部		家政学部		教育学部	
	25年3月	24年3月	25年3月	24年3月	25年3月	24年3月
卒業生総数	81	83	77	101	255	245
就職者総数	77	79	68	77	194	186
就職率	95.1	95.2	88.3	76.2	76.1	75.9
うち県内就職者	33	22	48	50	107	90
県内就職率	42.9	27.8	70.6	64.9	55.2	48.4
進学者総数	3	3	2	1	31	25
進学率	3.7	3.6	2.6	1.0	12.2	10.2
うち県内進学者	2	3	1	1	30	23
県内進学率	66.7	100.0	50.0	100.0	96.8	92.0
一時的な仕事に就いた者	-	-	5	11	1	9
一時的な仕事に就いた者の率	-	-	6.5	10.9	0.4	3.7
うち県内居住者	-	-	4	5	1	5
県内居住率	-	-	80.0	45.5	100.0	55.6
その他総数	1	1	2	12	29	25
その他の率	1.2	1.2	2.6	11.9	11.4	10.2
うち県内居住者	-	-	1	4	15	11
県内居住率	-	-	50.0	33.3	51.7	44.0

注) 医学部卒業者のうち臨床研修医については、「就職者総数」に含む。

(2) 図4に示すとおり、平成25年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が339人（16.1%、前年に比べ0.1ポイント低下）で最も多く、次いで卸売業、小売業305人（14.5%、同1.1ポイント低下）、製造業270人（12.8%、同1.6ポイント低下）、金融業、保険業165人（7.8%、同0.1ポイント低下）の順となっている。

県内就職者を産業別でみると、図5に示すとおり、医療、福祉が190人（28.1%、前年に比べ0.8ポイント上昇）で最も多く、次いで卸売業、小売業81人（12.0%、同1.8ポイント低下）、教育、学習支援業59人（8.7%、同1.1ポイント上昇）、金融業、保険業55人（8.1%、同3.7ポイント低下）の順となっている。

図4 産業別就職状況の推移（大学）

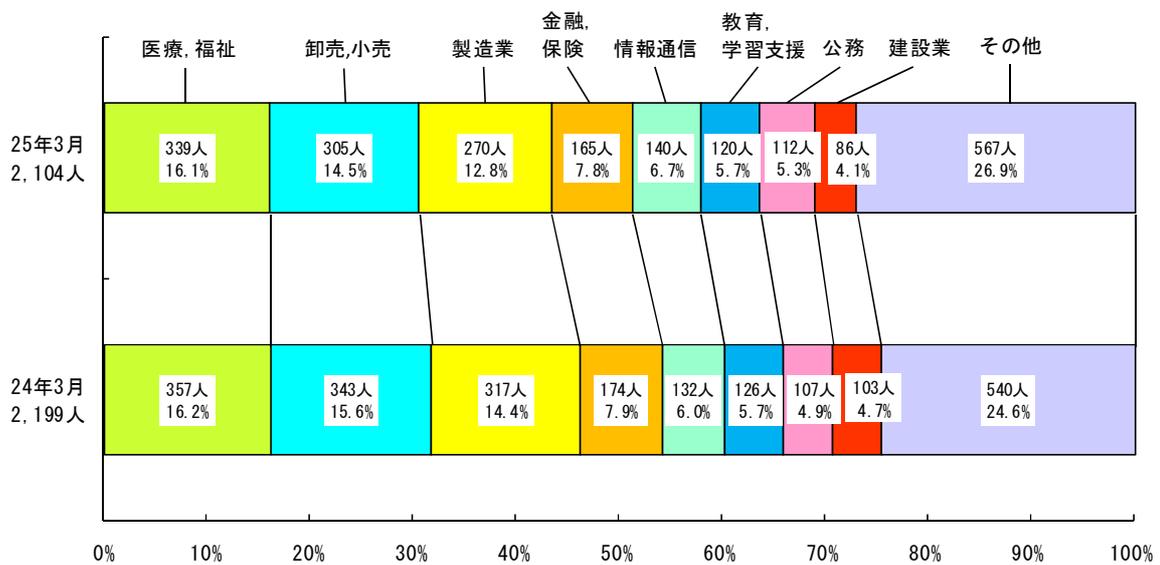


図5 産業別県内就職状況の推移（大学）

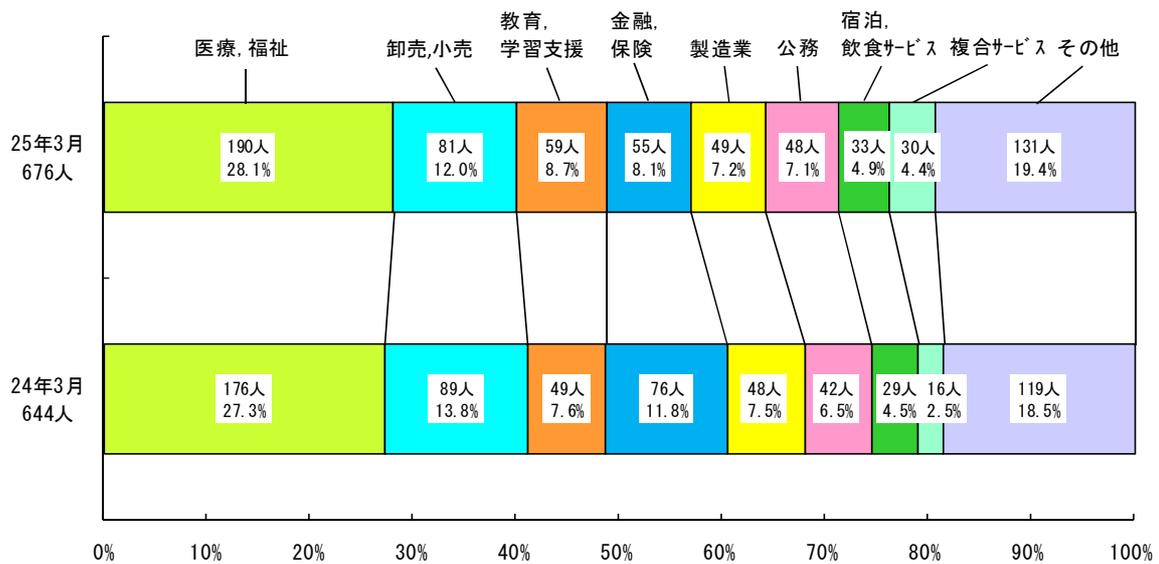


表3 県外就職者の就職先地方別状況

(単位：人、%)

区 分	県外 就職者数	県 外 就 職 者 の 内 訳							
		九州 ・ 沖縄	四国	中国	近畿	中部	関東	北海道 ・ 東北	その他
大学	1,428	445	37	69	98	75	319	8	377
構成比		31.2	2.6	4.8	6.9	5.3	22.3	0.6	26.4
短期大学・ 高等専門学校	160	83	2	8	21	7	39	-	-
構成比		51.9	1.3	5.0	13.1	4.4	24.4	-	-
専修学校 (専門課程)	414	257	11	12	41	10	78	5	-
構成比		62.1	2.7	2.9	9.9	2.4	18.8	1.2	-
高等学校	620	254	1	37	107	96	117	2	6
構成比		41.0	0.2	6.0	17.3	15.5	18.9	0.3	1.0
合計	2,622	1,039	51	126	267	188	553	15	383
構成比		39.6	1.9	4.8	10.2	7.2	21.1	0.6	14.6

注) 端数処理の関係で、各地方の構成比を合計しても100にならない場合がある。